



【こどもの日って？】

もとは「端午の節句」として、男の子をお祝いする日でしたが「子どもの人格を尊重し、子どもの幸福をはかり、母に感謝する日」として制定され、子どもたちみんなが元気に育ち、大きくなったことをお祝いする国民の祝日となっています。

【どんなことをするの？】

○こいのぼり

鯉が流れの早い川でも負けずにのぼっていく強さをもつことから、子どもの健やかな成長を祈る気持ちの表れとして飾ります。

○かぶと飾り

命を守ってくれるよいかぶとを人形として飾り、事故や災害、様々な災いから身を守るという意味を込めて飾ります。

○柏もち

柏もちを包む柏の葉は新芽が出ないと古い葉が落ちないため「子どもが生まれるまで親は死なない」「跡継ぎが絶えない」という意味から子孫繁栄を願って食べられています。

○しょうぶ湯

端午の節句の別名を「菖蒲の節句」ということもあり、勝負が主役の厄払い行事でもあります。菖蒲には、厄除け効果があるそうです。

ぜひ、ご家庭でもこいのぼりやかぶと飾りを見ながら、こどもの日についてお話してみてくださいね。また、ご家庭でもできるこいのぼりの制作もホームページにのせましたので、みんなで楽しんでみてください！！

